



春岡消防団

【千種区】

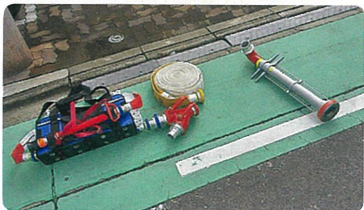
吉田消防団長



千種区で一番声の大きい団長です。名古屋市の操法大会では指揮者を務め、自衛隊出身者ではと噂されたほどです。本業はネジ加工をしており、大手自動車メーカーにも部品を供給する町工場の社長でもあります。

【春岡消防団ってどんな消防団】

千種区の繁華街、今池を学区に含み、ビルや木造住宅も多く、平らな地形が多いのが特徴で、消防団車両を所有していない消防団です。防火広報等では、徒歩がメインで地域に密着した広報を実施しています。出動時も自転車で出動しています。近年では、震災時の消火活動を重要任務と認識して、消防署指導のもと、ホース延長やポンプ操作訓練を主としています。



ホースバックによる延長訓練
や40mmホース機材

※春岡消防団では、震災対策に重点をおいており、その為の装備として、繁華街での活動をサポートするプライバシーシートや少ない隙間で持ち上げることができるジャッキなどを配備しています。



また、全団員に特定小電力トランシーバを貸与しています。

【春岡消防団の気鋭】

● 野牧副団長



町の中華店の2代目ですが、鍋ふる防災士の別名もあり、某救護団体の委員長としております。名古屋市内でも一・二位を誇る防災バカでもあります。また、お店は消防団員割引施設でもあります。

● 川端部長



会社員の部長ですが、パソコンに精通し、ちょっとマニアックなところがありますが、AEDなどの指導では、普段とは違う一面を見せ多くの子供たちのハートを驚かすのが難点です。

● 加藤班長



春岡消防団で団長と同じくらい熱い男です。防災に懸ける熱意は熱く消火できないくらいです。運送関連の仕事をしていますが、休日には趣味で登山をしています。登山の経験を生かしてのロープワークは春岡消防団活動での良い指導役になっています。日本アルプス縦走が夢だそうです。

その他にも春岡消防団には、長年のベテランはもちろんの事、元新幹線の運転手さんや元国交省の団員さん、元海上保安庁のパイロットさんなど他業種にわたる団員が在籍しており、その経験が非常に役に立っています。

春岡消防団は、これから地域リーダーとして防火・防災に勇往邁進していきます。

